

■2019年度 第9回例会・講演会

日時 2020年1月21日（火） 19:15～20:15
 場所 J:COM ホルトホール大分 410会議室
 出席者 35名
 JIA会員 出席 11名、委任状 8名、欠席 0名（19/19）
 協力会員 9名、一般 7名
 議事録作成者 高橋大介
 議事録署名人 松田周作

◆内容

1.確認事項 重田副会長
 出席者人数の確認を行った。
 会員数19名の内、出席者総数19名（委任状による出席者数8名含む）により、例会が成立する。

2.報告事項 重田副会長
 ○大分県木造建築研究会「30年のあゆみ」紹介の件
 ・著書の紹介がありました。

○JIA九州支部 地域交流会の件
 ・2/1に開催の地域交流会についての告知がありました。

○木の匠育成事業（木造マイスター育成事業）について
 ・日程、講師の案内がありました。

○九州建築塾の件
 ・塾生の応募が2名あった件
 ・地域会からの補助金確定の報告がありました。

○協力会員「東工シャッター」審査の件
 ・本部審査中の報告がありました。

3.協議事項
 ○2020年度事業計画、予算方針の件
 ・計画、方針が示され拍手をもって承認されました。

4.その他
 ○事務所協会より3/6若手技術者交流会の案内がありました。

竹宮幹事



○シネマ5より「シュヴァルの理想宮」の案内がありました。
 松田会員

○玉井木材センター様より見学会の案内がありました。
 ○金田会員より退会届提出の報告と挨拶がありました。

5.例会企画
 「九経連 木造ビル構造標準モデル研修会」中間報告
 三浦会長

昨年、林野庁が門型フレームを開発した。九経連にてその九州モデルを造ろうと考えている。3月中旬に発表を予定している旨を報告していただきました。

「木材供給についての情報提供」
 中国木材(株)営業部伊万里センター
 野田亮所長、岡田洋史主任

中国木材株式会社の紹介
 5拠点に工場があり、九州にも宮崎県日向市と佐賀県伊万里市に向上を構えている。大分県産材の取り扱いも可能。

商品の紹介
 東北の他社工場が被災し、構造用合板の製造が落ち込んだ折、ムク・ボードを開発した。

サネを付けた板：カフェ板を開発 月産500-600㎡を出荷する
 ドライ・ビーム E110以上の米松構造材
 ハイブリッド・ビーム E120 F330 以上の 米松・杉集成材
 輸出

国産材を海外に輸出している。輸出先は中国、台湾、韓国。などの情報提供を頂きました。

その後、活発な質疑応答、意見交換が実施されました。



4.閉会 竹宮幹事
 竹宮会計幹事より閉会の辞がありました。

■次回 2019年度 第10回例会

日時：2020年2月18日（火）ホルトホール大分にて
 詳細はメールにて後日案内